

登録コード	A3592470	開講年度	2026				
授業科目	プレゼンテーション演習Ⅱ					担当教員	小林 元
英文授業名	PresentationⅡ						
単位数	1	講義期間	前期（随時）	曜日・時限	集中・不定期	対象学生	4年前期
講義室				授業形態	演習	遠隔授業科目	備考
信大コンピテンシー	該当						
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素				⇔	【授業の達成目標】	
	2022Aカリ，2021Aカリ，2020Aカリ，2019Aカリ						
	【2022年度以前カリ対象】専門的な知識や研究能力を修得している				⇔	パワーポイントスライドを使ったプレゼンテーションが出来るようになる。	
	【2022年度以前カリ対象】地球的な広い国際的視野と同時に現実的な地域の視点に立って問題をとらえ解決する能力を修得している				⇔	パワーポイントスライドを使ったプレゼンテーションが出来るようになる。	
	2026A3編（24A），2025A3編（23A），2024Aカリ，2023Aカリ						
	【2024年度以前カリ対象】専門的知識や研究能力を基礎としての確かな情報を収集・理解し、発信できる能力を修得している。				⇔	パワーポイントスライドを使ったプレゼンテーションが出来るようになる。	
	【2024年度以前カリ対象】地球的な広い国際的視野と同時に現実的な地域の視点に立って様々な課題をとらえ、解決する能力を修得している。				⇔	パワーポイントスライドを使ったプレゼンテーションが出来るようになる。	
(2)授業で学べる「テーマ」	環境共生						
(3)全学横断特別教育プログラム							
(4)授業の概要	本授業では、自分の研究計画、その研究に関連する海外の論文紹介、調査や実験から得たデータの報告、まとめについて、MS社のPowerPointを使って、各研究分野のセミナーで発表する。						
(5)授業計画	1. 研究テーマの概要について，議論する。 2. インターネットを利用した文献検索の方法について学ぶ。 3. 電子ジャーナルの利用方法，学外文献複写依頼の方法について学ぶ。 4. パソコンソフトを使った文献の管理方法について学ぶ。 5. 英語論文の和訳を発表する。 6. 複数の論文を読んで，研究テーマ内容をレビューする。 7. 統計手法の選択について学ぶ。 8. 各種統計ソフトの使い方について学ぶ。 9. グラフソフトの使い方について学ぶ。 10. 図表の作り方について学ぶ。 11. パワーポイントを使った効果的なプレゼン資料の作成について学ぶ。 12. 効果的な口頭発表の仕方について学ぶ。 13. 卒論のテーマについて口頭発表を行う。 14. ポスターの作成方法について学ぶ。 15. 卒論のテーマについてポスター発表を行う。アンケートの実施。						
(6)自主学習の指針	自主学習では参考書の使用を薦める。						
(7)成績評価の基準	演習での口頭発表，ポスター発表のパフォーマンス，スライド資料，ポスター資料の完成度で成績を評価します。						
(8)事前事後学習の内容	研究テーマについて数多くの文献を集め，内容を精読しておくこと。						
(9)テストやレポートの予定	プレゼンテーションのパフォーマンス能力をテストする。プレゼンテーションの資料をレポートとする。						
(10)成績評価の方法	発表内容と発表時における質疑応答。 評価基準は以下の通りです。 秀：90点以上（授業の達成目標の水準からみて卓越している） 優：80～89点（授業の達成目標の水準よりかなり上にある） 良：70～79点（授業の達成目標の水準よりやや上にある） 可：60～69点（授業の達成目標の水準にある） 不可（D）：50～59点（授業の達成目標の水準よりやや下にある） 不可（E）：49点以下（授業の達成目標の水準よりかなり下にある）						
(11)質問、相談への対応および連絡先	随時受け付ける。研究室にて対応します。AFC棟2階E205号室。内線2607。直通0265-77-1533。メールアドレス：kobaafc@shinshu-u.ac.jp						
(12)履修上の注意	出席が2/3に満たない受講者には、単位を認定しない。						
【教科書】	特に指定しない。						
【参考書】	これから学会発表する若者のために -ポスターと口頭のプレゼン技術- （酒井聡樹著、共立出版） 学生・研究者のための伝わる！学会ポスターのデザイン術						

【参考書】	(宮野公樹著、化学同人)
-------	--------------